

Por um futuro melhor



どの子の未来も明るくなりますように！

フラジル通信 No.7 2018.10.19 学校教育課 鳥山徳子

Muito Bom! (おいしい!) または Gostoso! もっとおいしかったら Delicioso!!

番外編(思いつくままフラジル紀行)その1 ①~⑥

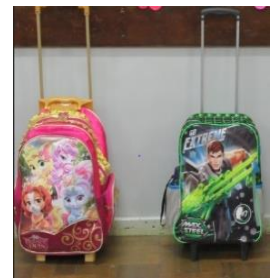
① ブラジル(クリチバ・マリンガ・パラナヴァイ)の「路上駐車」

ブラジルの多くの道路が一方通行です。道路はおそらく4車線分あると思いますが、真ん中の2車線が走行道路で、両側の2車線は駐車用です。少し隙間を見つければどんどん止めます。縦列駐車が上達します。市場や公園では、車を見張っていたかのように、帰り際に車に近寄ってきて小銭をもらって生活費を稼いでいる人もいます。



② ブラジルの「キャリーバッグ」

私立の学校に通う子は、車の送迎にもかかわらず、車(ほとんど玄関横づけ)から教室までのわずかな移動もキャリーバッグを使います。日本の修学旅行もキャリーバッグが増えていますが、学校の教科書などの荷物が重い問題を解決する方法として、キャリーバッグでの登校が許されるような日が日本にも来るのでしょうか? また、私が訪問した私立の子はおやつを買うために、筆箱や連絡帳の間にお金が入っていました。おやつを買うお金を忘れて、事務局で電話している子もいました。一日くらい我慢させることはできないのかなと残念に思いました。



③ ブラジルの「洗濯物事情」

ブラジルでは、「外観を損ねる」「盗難防止」などの理由で、洗濯物が見えるところには干せないそうです。気温も高く、太陽もぎらぎらと照っているのに、なんだかもったいないですね。私は、生乾きが嫌だったので、外に出ないように気をつけて窓際に干してしまいました。

④ ブラジルの「トイレ事情」と「お風呂」

ご存知の方も多いでしょうが、トイレットペーパーは流せません。うっかり流してしまったときは「流れますように」とお祈りします。逆に、外国人の方々は日本に来ると、トイレットペーパーをトイレの中に流す習慣がないので、逆のことが起きていて困っていますよね。それから、ホテルのお風呂にバスタブはありません。バスタブが恋しいですが、お湯が出るだけありがたいです。



⑤ ブラジルの青空市「フェイラ」

日曜日の朝は、ブラジルの人はフェイラに出かけ、「パステウ」を食べるそうです。私も通訳さんと一緒に食べました! 果物天国! 野菜天国! オレンジ、バナナ、レモンの種類も豊富で、日本では考えられないくらい安い値段で売っていました。マンゴーもすごくおいしい😊です。



⑥ ブラジルの「選挙」(大統領選挙: 10月7日)(議会選も同時開催)

1. 決められた校区の学校へ行く。

2. 必要な書類を係の人に見せ、投票する部屋を教えてください。

※並ぶこと1時間(2つの教室だけが長蛇の列。ほかの教室は並んでもいなかったです!?)

3. 機械で、自分の投票したい人の番号を入力⇒顔写真が出る⇒確認⇒終了

(ここはさすがに見学不可能でした。機械の写真も撮らせてもらえませんでした)

※機械で行うので、機械が故障して大変だったこともあるそうです。現在の政党のことを支持していない人は、機械で投票数を操作しているという話もしていました。事実かどうかはわかりません。

選挙前に、長年の景気の低迷や政治家などの汚職の増加は、最大左派・労働党政権のせいだという声を多く聞きました。ポウソナル氏(新聞ではボルソナロ氏)は、極右・社会自由党ですが、現在の政治を変えるためには、こちらに投票するしかないということで、得票率は46%にまでなりました。しかし、当選に必要な過半数を得票した候補者がいなかったため、左派・労働党のアダジ(元サンパウロ市長)と28日に決選投票が行われることになりました。ブラジルはこの結果で大きく変わるようです。